



8月9日、長崎への原爆投下から77年を迎えました。

国連のグテレス事務総長は6日に広島市で開かれた平和記念式典に初めて出席し、核保有五大国に核兵器の「先制不使用」を約束するよう呼び掛けると同時に、ウクライナ南東部のザポロジエ原発に対して砲撃が相次いでいる事態について「原発への攻撃は自殺行為だ」と懸念を表明しました。

日本は、唯一の戦争被爆国であり、さらには震災によって福島第一原発事故による放射能汚染も発生し、今もなお多くの人々が避難生活を余儀なくされています。

8月9日「長崎原爆の日」

核拡散防止条約（NPT）再検討会議にて、

岸田首相も「核なき世界」に向けた5本柱を提言

人類と核は相容れない！

唯一の戦争被爆国として、核なき世界をつくりだす議論をリードするべきだ！